

設備工事情報シート	電 気	Ⅱ－E－6-改1	制 定	2008年4月1日
			改 訂	2014年2月1日
機器・材料	光配線システム(BLS OC規格)		神保電器編	

1. 目的・概要

集合住宅の情報設備として、自営光配線設備による住戸への光直接引込(FTTH)方式が実用化され、採用事例が増えつつある。集合住宅に於ける光配線システムの使用部材並びに設計指針について、財団法人ベターリビングが BLS OC:2005「光配線システム機器」を制定し、標準化を図ったので、その概要を示す。

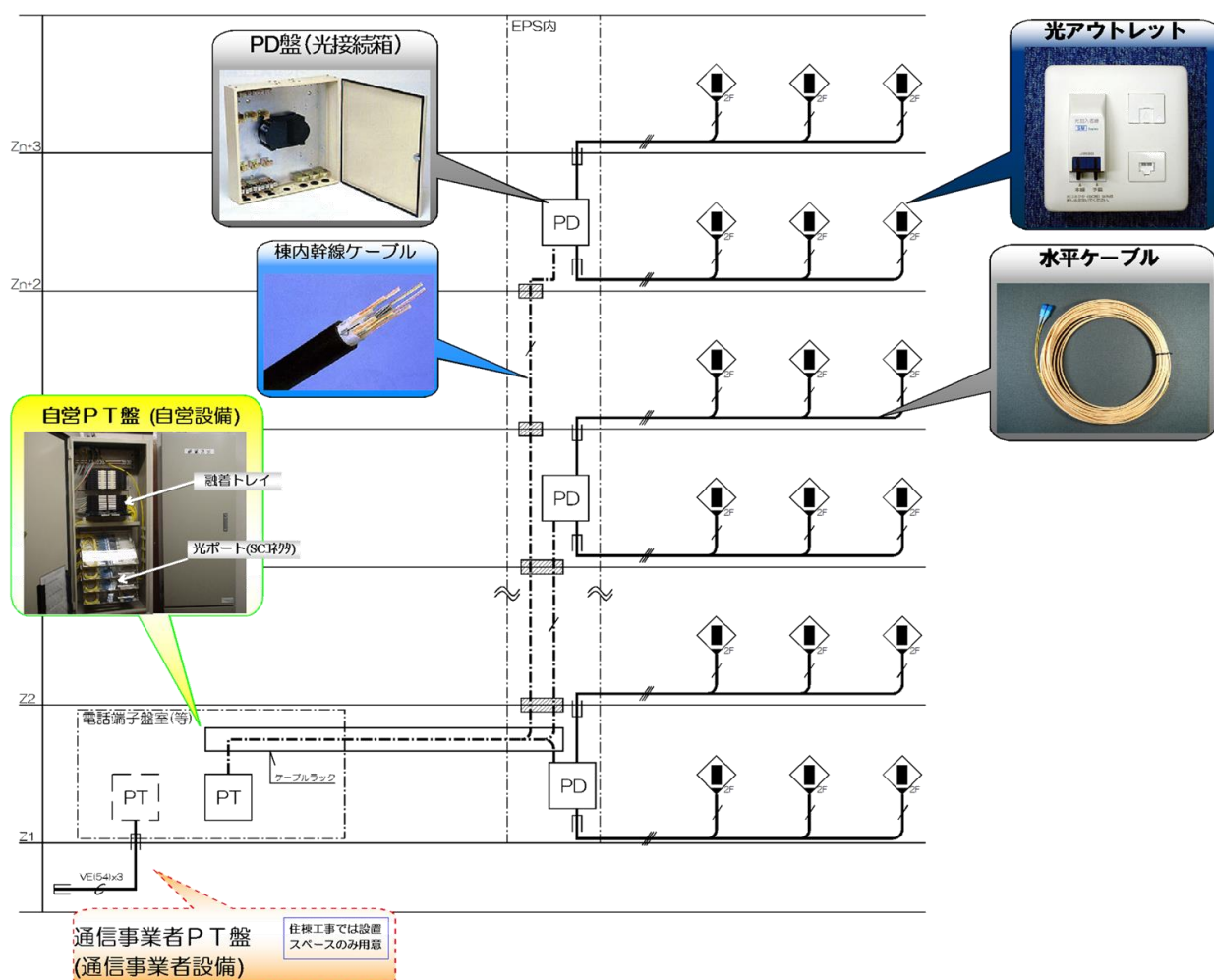
2. BLS OC規格

建物の自営設備となる光配線設備について標準的な仕様を定めた国家規格・民間規格は、これまで存在しなかった。そこで、住宅の設備設計者にとって設計のガイドラインとなる、システムとして満たすべき技術的要件を整理するとともに、当該システムに用いる機器の具備すべき品質・性能・アフターサービス等を定めたもの。その他関連規格にBLE OC(評価基準)、BLT OC(試験方法)がある。

3. システム構成(標準方式)

本システムは、サービスの種類・提供事業者の別に拘らず、情報通信設備全般に適用できる汎用伝送路として構成し、電話端子盤室等に設ける自営PT盤と住戸内に設ける光アウトレットとが一对一接続されるスター型とする。

光配線設備系統図〔標準方式〕

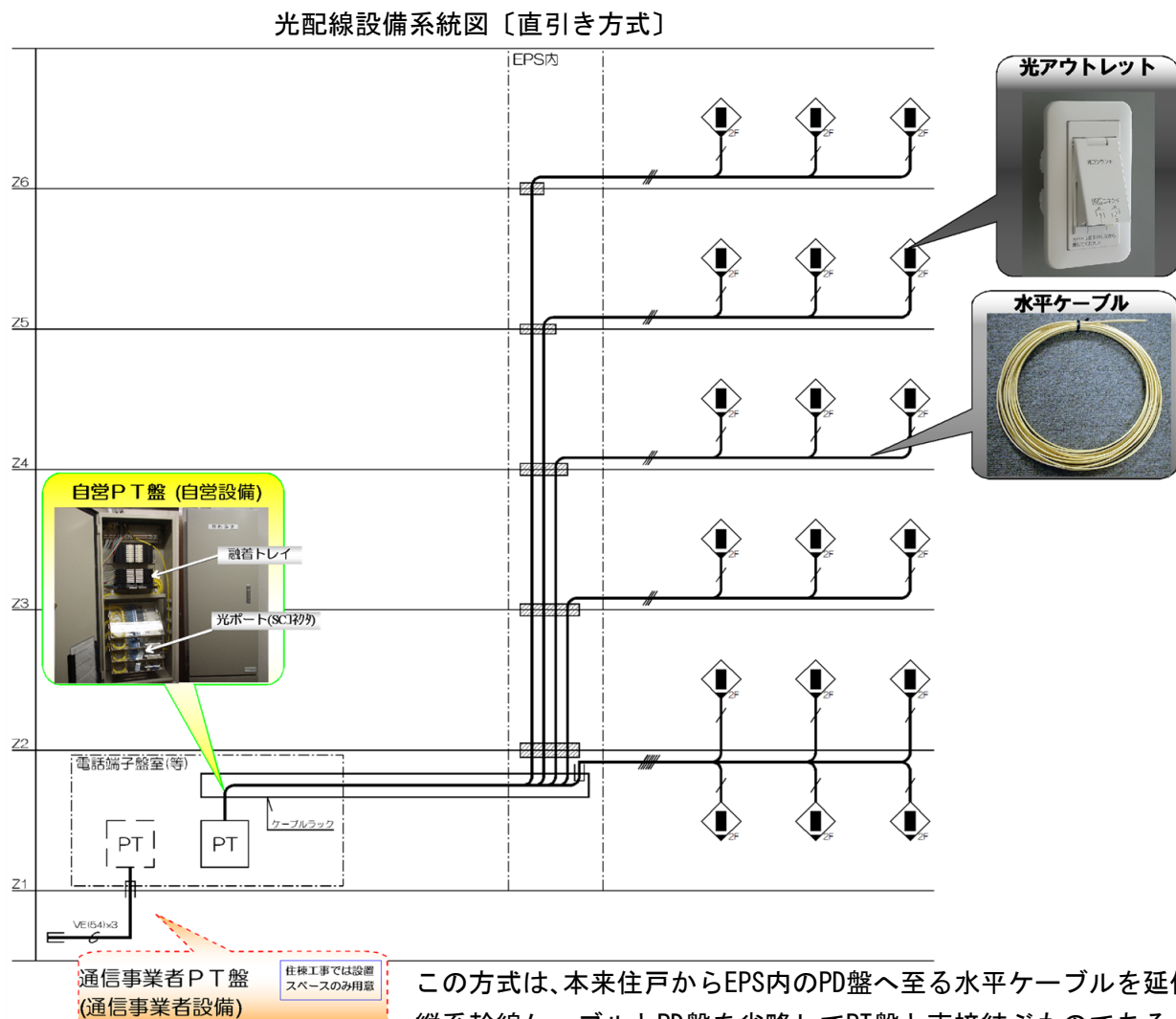


自営PT盤と各住戸内の光アウトレットとの間は、必要に応じて接続点(永久接続・コネクタ接続の何れか、または両方)を設けてもよい。但し、接続点以外の機能要素(分岐器・フィルタ等)を設けてはならない。

資 料

4. システム構成（直引き方式）

比較的小規模な物件（概ね10F建以下、総戸数80戸以下）に於いては、下図による簡略方式を用いて工期・コストの縮減を図ることが出来る。



この方式は、本来住戸からEPS内のPD盤へ至る水平ケーブルを延伸し縦系幹線ケーブルとPD盤を省略してPT盤と直接結ぶものである。縦系幹線ケーブルに比し水平ケーブルは強度に劣るので、ケーブル保護とルートに充分配慮のこと。

5. 設計上の留意点

(1) 自営PT盤・PD盤・光アウトレットの選定

BLS 0C「優良住宅部品認定基準 光配線システム機器」に適合する部材を使用する。

(2) 棟間幹線ケーブル・棟内幹線ケーブル・水平ケーブルの選定

BLS 0C 付属書「ケーブルの仕様」に適合し、当該ケーブルに接続する盤・アウトレットの仕様書に指定する光ファイバケーブルを選定する（特に水平ケーブルの選定は最後に行うこと）。

(3) 事業者PT盤・自営PT盤・PD盤・光アウトレットの据付スペース確保

BLS 0C I 総則 6. 寸法 の項に、それぞれの標準据付寸法が記載されている。事業者PT盤の据付はサービス事業者工事であるが、自営工事として予め前記寸法の本板を事業者数分取付けておくこと。

6. 問い合わせ先

〔問い合わせ先〕 神保電器株式会社 技術開発部 光専任 TEL 03-5705-7407 FAX 03-5705-7404
〔BL規格入手先〕 財団法人ベターリビング <http://www.cbl.or.jp/blsys/blnintei/kijyun.html>